

# 清流の辺



令和5年 1月24日  
第 11 号  
校長 加々美 竜也

## 舞茸祭売上用途 . . .

# タバスキー像に決定!



- ▶ 11月の研究授業、生徒総会などを経て、舞茸祭売上用途が決まりました。2月中旬に納品、2月20日(月)に村長を表敬訪問し、寄贈させていただく予定です。その後は新庁舎の適当な場所へ設置していただく依頼をし、了承していただきました。

※サイズは、高さ150cm 幅100cm 奥行60cmぐらいとなります。

- ▶ 舞茸祭参加を通して、《ふるさと丹波山》を見つめ、考える機会となり、今回の用途決定により、無事完結することとなります。坂本さんを中心に、みなさまのご理解とご協力を、本当にありがとうございました。

### ◆来年度に向けて始動!

どういう形で、来年度の舞茸祭に参加するのか、今年度の成果と課題をふまえて、  
①その目的、②食数、販売体系、金銭、③その他 人材の活用、スケジュールなどを検討し始めました。

4月の授業参観で、舞茸祭参加の方向性を確認し、活動が始まります!

## 1月風景

右の写真は、《国語科》の取組です。百人一首大会、書き初め大会です。



## 2月 主な予定ほか

- 1日(水) 体重測定
- 6日(月) きずなの日  
小中学校運営協議会
- 7日(火) 【小中】篠笛練習
- 11日(祝) 建国記念の日
- 12日(日) 入試(該当者)
- 14日(火) 3年期末試験 -15日(水) まで  
入試(該当者) -15日(水) まで
- 16日(木) 【小中】みそづくり
- 20日(月) きずなの日  
◆村長表敬訪問 タバスキー像贈呈
- 23日(祝) 天皇誕生日
- 25日(土) 新 PTA会長等予定者研修会
- 27日(月) 1・2年期末試験 -28日(火) まで



## 収穫祭...

始業式の日、保護者のみなさまなどにカレーを食べていただきました。(お味は...) 生徒会の活動の柱「地域とともにある丹波中」を具体化する取組でした。ありがとうございました。



# 一步上の丹波中をめざして

- 「学校教育目標の実現」, 「一人一人に応じた指導・支援」については, おおむね高評価でした。  
▲「宿題, まなBOOKの活用, 自治的活動など」に課題があると指摘されました。(学校評価から)  
今後, PTA定例会や学校運営協議会でご意見をいただき, 今後の学校経営に反映させていただきます。

## (1) 全体的に

- ①学校教育目標に沿った取組(学校行事, 全校道徳, 生徒会活動等)が進められた。
- ②ふるさと丹波山に根ざした教育が進められた。  
(生徒)・丹課や自然学習, 舞茸祭を通して, 丹波について学ぶことができた。
  - ・自然を十分に味わい, そして自然から学び, …, 自然体験を充実して行うことができた。
  - ・あいさつをしたり, 獅子舞に参加したり, ふるさととのつながりを大事にしている。
  - ・地域とのつながりがあり, 村のことを考える良い機会である。▲普段から地域を意識することがあまりない。
- ③保小中の交流が充実していた。  
(生徒)・中学生として, 保育園生, 小学生に指示を出し, 協力して活動できた。
  - ・保小を引っ張れるように意識している。\* (中学生として) 保小に見習うべきことがある。

## (2) 少人数の良さがあり, 生徒一人一人に寄り添う指導

- (生徒)・先生は優しくていっぱい話を聞いてくれる  
(保護者)・少人数のメリットを生かした教師と生徒との間で, 十分なコミュニケーションを取りながら進められる授業はわかりやすく, とても良いと思います。
  - ・積極的に取り組み, 自分の意見や質問などが言えるようになったのは少人数の強み
  - ・(関連)人とかかわりの中で, 自分なりに対応など少しずつ学ぶことができています

## (3) その他 課題

- ①「まなBOOKの効果的な活用」や「家庭学習の習慣化」をどう図るか。  
(生徒)あまり「まなBOOK」をうまく活用して, 学習の習慣を定着できていないと思う。  
(保護者)先生方の協力を得て学んでいると思いますが, 家庭学習の習慣が今ひとつのようです。
- ②自治的な活動をどう進めていくか。  
(生徒)生徒会活動では, 先生方の手を借りたり, 先生が進行をしたりしてしまう時がある。  
(保護者)子どもの心や体の負担にならないように, 先生方のサポートもよろしくお願いします。
- ③さらに, チーム支援をどう進めていくか。  
(職員)「さまざまな生徒を, 全職員で支え合い, すべての生徒の担任でありたい」と思います。

## ◀来年度の学校経営の重点(案)▶

- ①引き続き, ふるさと丹波山に根差した教育の定着・発展へ(「学校教育目標」の実現)
  - ・自然体験, ささら獅子舞, 篠笛, 舞茸祭参加(2年目), 栽培活動
  - ・「学校運営協議会」2年目を迎え, 委員を中心とした更なる学校教育への支援
  - ◆【特色】「学校教育目標」と「生徒会, 諸行事など」が密接にリンク
    - ・立会演説会演説文から生徒会基本方針(案)へ 伝統や地域と密接に結びつく丹波中
- ②生徒一人一人に応じた適切な指導, 支援 ◀ 多様性と包摂性への対応 ▶
  - ・生徒の負担・負担感をふまえた行事の在り方
  - ・見通しのある柔軟な対応, 工夫, 提案と合意 (授業や行事参加など)
  - ・特に, 中学校卒業後の進路保障は大きな課題(県外, 希望, 見通し等ふまえ)
- ③校内研究 令和6年度丹管教協事務局 授業提供校 2年計画
  - ・テーマ「一人一人に応じた適切な指導・支援の在り方」をたたき台に検討
- ④連携
  - ・小中間 行事から授業など9年間の教育課程を考える。(予)
  - ・中央大学 大川小中 小菅中 など
- ⑤感染症対策の継続・徹底 「学びの保障」
- ⑥服務規律の確保 信頼される教職員 メリハリのある勤務 業務削減 行事精選
- ⑦令和6年度をどう迎えるのか, その準備の年  
全校生徒7人の見込みから, 行事や部活動の在り方などの検討